

## 人権メッセージ

### 第97回兵庫県メーデー神戸中央大会 人権・連帯メッセージ

第97回を迎えた兵庫県メーデー神戸中央大会。本日は、私たちが日頃の労働を讃え合う「働く者の祭典」であると同時に、私たち一人ひとりの「人権」を改めて見つめ直し、再確認する大切な日でもあります。

今、世界では「ビジネスと人権」という言葉が注目されています。これは決して、企業がルールを守れば良いというだけの話ではありません。

私たちが日々働くその現場から、国籍、性別、障害の有無、そして生まれ育った環境などによるあらゆる差別を根絶すること。一人ひとりの尊厳が守られ、誰もが自分らしく生きられること。それこそが、私たちがめざすべき、真に豊かな社会を築く土台です。

ここ兵庫には、部落解放同盟をはじめとする諸団体の皆さんと共に、長年、理不尽な差別の解消に向けて共に歩み、力を合わせてきた強い連帯の歴史があります。

「いかなる差別も許さない。」「世の中の不条理を許さない。」この揺るぎない決意と行動こそが、私たちの労働運動の原点です。

そして今日、私たちはその「連帯の輪」を、次世代を担う子どもたちにも広げていきたいと考えています。

会場内で行っている「フードドライブ」と「子ども食堂支援カンパ」は、単なる慈善活動ではなく、物価高騰に苦しむ家庭や、孤立しがちな子どもたちの「食べる権利」「生きる権利」を支え、守り抜くための、大切な人権活動です。

「人権」とは、誰かの「厚意」や「配慮」によって左右されるものではありません。誰もが生まれながらに持ち、当然に守られるべき「権利」です。

お互いの権利を尊重しあいながら、誰一人として取り残さない。その社会的責任を果たす積み重ねの先にこそ、差別のない、誰もが安心して暮らせる社会が待っています。

仲間の皆さん、今日、改めて誓い合いましょう。

「あらゆる差別をなくし、すべての人が誇りを持って働ける。そして、すべての子どもたちが笑顔で暮らせる兵庫」を、皆さんの連帯の力で築き上げようではありませんか！  
共に頑張りましょう！

2026年4月29日

第97回兵庫県メーデー神戸中央大会